

昨年8月から錦江町での募集がスタートした「保育園留学」。その実態とは――。



保育園留学

“こどもが主役”の暮らし体験



最近、テレビや新聞などの報道で度々取り上げられている保育園留学。錦江町でも、昨年8月から法輪保育園と田代こども園の二つの園で募集がスタートしました。

そもそも「保育園留学」とは――。コロナ禍以降、職場に出社しなくても自宅や好きな場所で仕事をする「リモートワーク」という働き方が推奨されるようになりました。それに伴い、観光地や田舎で仕事をしながら余暇を楽しむ「ワーケーション」という働き方が広がっています。非日常の土地でゆったりと余暇を楽しんだり、観光したりすることで、仕事の生産性や心の健康を高める効果があると期待されているワーケーション。

保育園留学は、そのワーケーションに子どもも同行し、家族で休暇を楽しみつつ、田舎暮らし体験を

するというもの。親が日中リモートワークをしている間、子どもは滞在先にある保育園へ。保育園は、内閣府の「一時預かり制度」を活用し、町外の子どもの受け入れを行っています。

現在、株式会社キッチンハイクが運営する「保育園留学予約サイト」で錦江町の二つの園での受け入れを募集中。留学を希望される親子は、こちらのサイトから申込み手続きを行います。鹿児島県内で保育園留学を受け入れているのは錦江町のみ。「南に行きたい」という方々から大注目されています。

錦江町への滞在期間は1〜2週間程度。役場が借り上げている2棟の空き家に滞在し、錦江町での暮らしを体験していただきます。

今回は受け入れ先となっており二つの園と、6月に来られた留学生のご家族に話を伺いました。

今回で5組目となる留学生を迎えた法輪保育園。現在14名の園児が在園しています。

「錦江町を全国にPRできる良い機会だと思って、保育園留学生の受け入れを決めました。」



法輪保育園
下八重 さとみ 先生

と、鬼塚園長先生。在園児たちにとっても、新しい友達が増えることは大きな喜びになるそう。その分、別れの日の寂しさも大きくなる。その経験を通して、喜びや悲しみを体全体を使って表現できる子が増えてきたのだとか。

来たいな。」と思って帰っていたんだけど。」
と話す鬼塚先生は、留学生の保護者の方へ、町内のお店やおすすめスポットの紹介を欠かさないそう。
「少しでも地域の役に立てれば。」と笑顔で語られました。

「保育園留学に来られた保護者の方は、皆さん『自然が豊かです』とおっしゃってくださる。

今回、留学生を担当された下八重さとみ先生は、

「在園児たちが留学生をすつと受け入れてくれて、前からのように接してくれる。子どもたちの素直さに助けられています。留学生と一緒に、神川ビーチや大滝公園におでかけして、在園児にとっても楽しい時間となっています。」

と話してくださいました。



法輪保育園 園長
鬼塚 久明 先生



留学生 ゆいちゃん(年長)



田代子ども園 園長
林 正美 先生



「人っていうのは、幼いときの体験が大切。命の大切さを学ぶ上では、大自然に触れる経験が一番。田園風景、山並み、生き物たち…。田代だったらありふれている景色だけど、これが子どもが育つ上では本当に大切だと思う。この環境を都市部の子どもたちに提供できればと思っ

て、保育園留学を受け入れることにしました。」

「子どもたちは留学生に積極的に関わりを持つようとしています。留学生が来ることで、園に活気が生まれる。」

と答えられました。

と話す林園長先生。現在、在園児38名の田代こども園は、今回で3組目の留学生を迎えました。これまで来てくれた留学生たちが『また来たい』と言ってくれることに大変感動しているという林先生。

「私も在園児たちも新鮮な気持ちで、留学生とふれあうことができました。」

と、笑顔で話されました。

「3月に来た留学生が、7月にまた来るんですよ。留学生と在園児の保護者同士の交流もあって、ありがたいなと思っています。『また来たい』と思ってもらえるように、先生方も一丸となって対応しているところ



田代子ども園
福留 真衣 先生



留学生 たつきくん(1歳)

留学生 めいちゃん(年少)

保育園留学を体験して



法輪保育園
留学生の保護者
阿部 恵利さん
(東京都在住)

Q「保育園留学」を知ったきっかけは？

A「私が育児の間に何か習い事をさせたくて、『留学』で検索していたら、保育園留学がヒットして、初めて知りました。」

Q 錦江町を選んだ理由は？

A「とにかく遠いところへ行ってみたかったのと、サイトの口コミを読んで、素敵な園だと思ったので。」

Q 法輪保育園の印象は？

A「跳び箱やトランポリンなど娘にとって初めての経験が多くて、たくましくなったなと思います。園庭の雲梯ができるようになりました。いみたいで、毎日練習を頑張っているようです。」

Q 錦江町に滞在してみてどうでしたか？

A「下の娘を抱っこして出かける時、必ず『今何ヶ月？』って地元の方が声をかけてくださって、とても嬉しかったです。『町のみんなで子どもを育てる』みたいなの、そんな雰囲気いいなと思いました。また来たいと思います。」

Q 錦江町を選んだ理由は？

A「私が以前仕事で大隅半島を訪れたことがあって、田代はさらに自然が豊かだろうなと思って決めました。」

Q 田代こども園の印象は？

A「子どもたちは遊具がいっぱいあることに大興奮していました。みんなで一緒に遊んだり、何かを作ったりする時間が多いのもいいですね。」

Q 錦江町に滞在してみてどうでしたか？

A母「布団にダイブしたり、家の中を走り回ったり。錦江町ではユーチューブを見る時間が少なかつたような気がします。」
A父「朝、娘と散歩していたら、近所の方に『かわいいね』って声をかけられて娘がとても喜んでいました。田代小学校の校庭にも入らせていただいて、上級生の子がいろいろ案内してくれて。本当に温かい町だなと思いました。また来たいですね。」



田代子ども園
留学生の保護者
上村 知行さん・ひとみさん
(東京都在住)

保育園留学データあれこれ

受け入れ件数

29件

留学生在住地

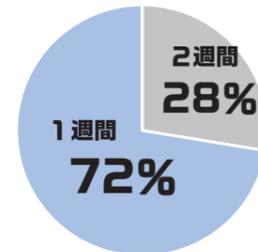
東京都 11件
神奈川県 4件
大阪府 4件

その他、
埼玉県・福岡県・兵庫県・愛知県
大分県 など…

受け入れ人数

子ども 44名
保護者を含めると… 96名

滞在期間



※すべて11月までの予約分を含みます



保育園留学担当
教育課 川前 亮

「現在、毎週どちらかの園に留学生が来ているような状況です。」と語るのには、保育園留学担当の教育課川前係長。昨年8月から留学生の募集を開始し、10月に1組目の留学生が法輪保育園へやって来ました。

「はじめの頃は予約が入らないのではと心配していましたが、実際に来られた方の紹介や、サイトの口コミを見て予約される方が増えてきています。」さらに、錦江町への留学が2回目という、いわゆる『リピーター』もすでに2件予約が入っているそう。

「保育園留学を通じて、確実に『錦江町ファン』の獲得につながっている。町内への経済効果も期待できるのでは。」と話す川前係長。まだまだ始まったばかりの保育園留学。今後のさらなる盛り上げに注目ください。

滞在用住宅(城元)



滞在用住宅(田代麓)

